

## 無数の灯りが幻想的な浜辺を作り出す

～ 第4回キャンドルコンサート in大潤ビーチ ～

8月6日、象潟海水浴場で象潟地区地域振興協議会主催のキャンドルコンサートが開催され、4,500本ものキャンドルが幻想的な風景を作り出しました。

今回で4回目を迎える当コンサート。日没を迎え空が暗くなるにつれて会場は幻想的な雰囲気に。コンサートにはケース&マサとエスペランサーが出演し、多くの観客を魅了していました。

会場の隅では静かな波の音、会場中央では出演者の優しい歌声と奥深いサウンドが流れ、訪れた人は思い思いの時間を過ごしていました。



幻想的な空間を作り出す無数のキャンドル

## 科学を楽しく学ぼう

～ 米村でんじろう実験教室 ～

8月11日、12日の2日にわたり「米村でんじろう実験教室」が行われ、市内外からたくさんの小中学生が参加しました。

11日に行われた教室では、液体窒素の科学を学びました。普段目にする事のない液体窒素を使った実験に始めは怖がっていた子供たちでしたが、実験を進めていくうちにその特性を理解し、だんだん上手に扱えるようになっていました。メインのアイスを作る実験では、自分で作ったオリジナルアイスに舌鼓し、楽しく、そして美味しく科学を学んでいました。



上段：液体チッ素を使ったバラのバラバラ実験

## 国体出場枠をかけた熱戦

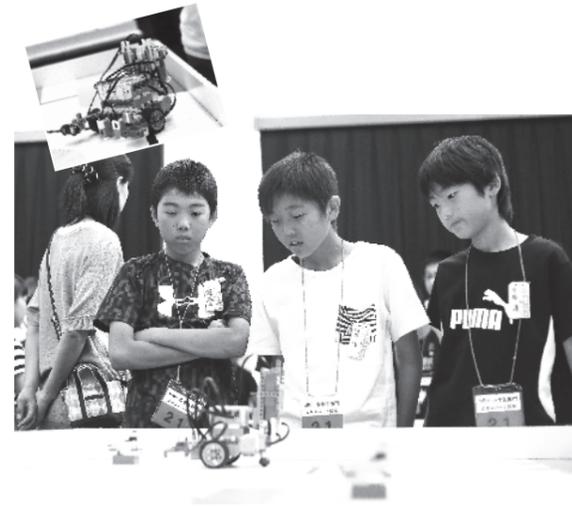
～ ミニ国体サッカー競技開催 ～

愛媛国体への出場権をかけたミニ国体サッカー競技が8月11日から13日にかけて本市で開催され、会場となった仁賀保グリーンフィールドとTDK秋田総合スポーツセンターでは東北6県の代表による熱い戦いが繰り広げられました。

競技は、少年男子、成年男子、女子のカテゴリーで行われ、出場枠が1つの成年男子と女子の決勝戦では、両試合とも前半は無得点でしたが、自力に勝る成年男子・青森県代表と女子・宮城県代表が後半に貴重なゴールをあげ出場枠を確保しました。



少年男子の秋田県と強豪宮城県の試合



ボクたちのロボット、行っけー!!

## ロボット操作の技を競う

～ WRO 2017 Japan 秋田県中央地区大会 ～

8月3日と6日にワールドロボットオлимпиаード秋田県中央地区大会が仁賀保公民館を会場に行われ、小学生部門に27チーム、中学生部門に10チーム、高校生部門に7チームが参加しました。

3日に行われた小学生部門では、児童ら自身が組み立て、プログラミング、調整を何度も繰り返し競技に挑みました。競技で各エリアに設定された課題をクリアすると会場は盛り上がり、児童たちの喜ぶ姿が見られました。今大会で優勝した小学生部門の上浜小学校のチームは、9月17日に東京都で行われる全国大会に出場します。

## 修三さんの地元で体験

～ 木版画刷り体験 ～

8月5日、6日にまちびと美術館のイベントとして象潟公会堂を会場に木版画刷り体験が行われ、2日間で市内外から16人の参加がありました。

今回刷り方を教えてくれるのは池田修三氏お墨付きの刷り師小林義昭さん。そして、猫の版画で有名な大野隆司さんの版木を使用し、2色刷りを行いました。版画で一番難しいと言われている刷りの作業、小林さんの教えどおりに作業を進めるも、なかには少し失敗する人も。それでも参加者の皆さんは楽しみながら木版画刷りを体験し、木版画の魅力や奥深さを感じていました。



上手に刷れたかな? ドキドキ、ワクワク。

## サッカー教室と選手の交流を通じて

～ 南相馬市立大甕<sup>おみか</sup>小学校サッカースポ少との交流会 ～

8月6日、象潟グラウンドで福島県南相馬市立大甕小学校サッカースポーツ少年団と、象潟・金浦小学校サッカースポーツ少年団とのサッカー交流会、またブラウブリッツ秋田によるサッカー教室が行われました。

震災後、大甕小サッカースポ少の末永監督の縁により、岩谷小サッカースポ少と続いていた交流会ですが、今回は、にかほ市内サッカースポ少との交流会となりました。

ブラウブリッツ秋田の岩瀬社長によるサッカー教室後の交流試合では、炎天下にも関わらずいつも以上に熱のこもったプレイをする選手たちの姿が見られました。



“サッカーとは何か” 岩瀬社長が熱い想いを語る